



# 奈良町にぎわいの通信

Vol.20

二〇一六・大雪〜冬至

発行  
奈良町  
にぎわいの家





佐久間宗成社中による  
四季の茶会

立礼式でゆったりと



お子さんも  
初めての  
生け花体験を

生け花体験と花講座



町家講座は「町家の庭」  
造園家の大岸祿弥さんのお話。



皆さん、先生の実演とお話を熱心に。

# 奈良町にぎわいの家 11月のイベントから



かまど体験。火の懐かしさ。



満員御礼！「テイテウたものがたり」



倉橋みどりさんによる  
「二十四節気講座〜冬〜」



**「にぎわいの花 咲かそう〜秋〜」**  
元興寺、今西書院他、奈良町各所で行われ、大変なにぎわいを見せた花展。見応えのある作品が当館にも。

## 奈良県大芸術祭参加「テイチクうたものがたり」

当館から近い、南肘塚町にあったレコード会社「テイチク」奈良工場。11/27に開催のこの朗読劇は、「テイチク」の社史『レコードと共に五十年』（昭和61年）より書き下ろしたオリジナル劇です。テイチクには、かつてお勤めだった方も多く、当然、皆さんよく知っていると思っていましたが、意外と知らないという人も。実際、出演者の皆さんもこの劇に関わるまで知りませんでした。

劇の内容は、テイチクの創業者、南口重太郎のエピソードを中心に、戦前、戦後の歌を交えながら進みます。戦争中、工場が焼失したものの、翌年に再建されたなど、苦難の中にも、時代時代にヒット曲を送り続けたテイチクの歩みを紹介しました。流行歌が暮らしの中にあつた時代を皆さん、懐かしんでおられたようです。この企画のチラシを見て、かつてテイチクにお勤めの方が、レコードの原盤やSP、LPレコードを持ってきて下さり、当日展示。テイチクの看板、八代亜紀さんが奈良に来られた時の写真ほか、皆さん、興味深く見ておられました。上演後、展示されたレコードをお客様に聞いていただきました。

さて、劇の面白いところは、出演者は終演後にはテイチクのことを良く知っているというところ。語ることで自然と覚えてしまうのです。「また来年、戦後編を作ってほしい。」という声もいただいています。現在、元興寺文化財研究所となっている「テイチク」奈良工場。少し前のことも、語り継がなければ消えてしまう…。

そんなことを思いながら、この奈良町にぎわいの家が生きてきた、100年の時間のことを考えています。

おの・こまち(作・演出／当館・総合プロデューサー)



歌って踊って...にぎやかに！



原盤他、懐かしいレコード。



リズムにのって  
語り部が

懐かしい画像と共に。

## にぎわいの家～この秋の菊～

スタッフが育てた菊が「平城京跡菊花大会」にて入賞、表彰を受けました。暑い夏を越え、スタッフが手をかけて育てた菊が花開く様は、今年の秋に華やかな彩りを添えてくれました。年配のお客様が「昔、母が作ってたわ」「父が熱心だった」などお声かけ下さいました。また来年もにぎわいの菊をお楽しみに。



## 奈良町にぎわいの家・二十四節気企画 オリジナル短歌&書&マークをお楽しみください。

短歌  
喜多隆子(歌人)

書  
逢香(書家)

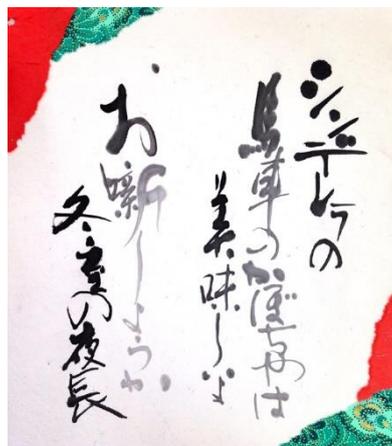
節気マークデザイン  
金田あおい(藍寧舎)



「冬至」

かぼちゃ、と聞くと、子どもたちは、冬至に食べるというより、ハロウィンのかぼちゃのオバケを思い出すかもしれません。シンデレラの馬車もそんなかぼちゃのイメージを代表していますね。かぼちゃが魔法で馬車になる…そんなおとぎ話を信じられる子ども時代が長くあってほしい…冬の夜長は真っ暗でこわいけれど、大切な人が身近でお話してくれる…そんな宝物のような時間を冬はくれる…。

シンデレラの馬車のかぼちゃは美味しいよ、  
お楽しみようか冬至の夜長



## 違うことの楽しみ

事務局長 藤野正文

12月、早くも冬至になり一年で日が差す時間が一番短い時期を迎えます。何故か気が早く日々になりまして。お世話になった方にお歳暮、来年に向けて年賀状、一年の垢を落とす大掃除・片付け、一年間の感謝を込めて忘年会、新たな一年を迎える準備も。

木と紙とわらと土・石でできていた日本の住まい。もちろん全て自然のもので木と紙とわらは自然の恵みを受けて育ったもの草木を加工したモノでどれとつてもよく似ているけど同じものが存在しない世界。現代社会では画一的で均質なモノを作ることに、提供することに精いっぱい頑張ってきましたが、同じでないことが当たり前で、むしろそれぞれが違うことに価値があるように思えてきます。違いがあることを必然的なものとして、違いを分かり、なぜ違うのかを考えることが本当に大切なことのように思います。

奈良町の昔ながらの町家も木や土でできているのに決して同じもの一つとしてないですね。道から見ただけでも施主の職業・商売、くらし方、好み、財力によって外観が異なります。間取りも異なるのは当たり前。

前。顔のよく似ているヒトもいるけれどやっぱり違っているのが当たり前前。

郊外のニュータウンでの散歩と違って奈良町でのゆっくりしたまち歩き楽しみ・面白さもそんなところにもあります。もちろん町家だけでなく道端の祠や小さな神社、格子の隙間に見えるお店の陳列品・喫茶店のメニュー・イベントのポスター、軒下においてある植物、ツバメの巣、たまに出くわす猫、観光客の会話、家から漏れてくる音楽、キンモクセイの香りなどなど。そんな町家が、町家のくらしが、まちから少しずつなくなっていくのは、まち歩きをしている立場としてもとても残念なことです。

## にぎわいのクリスマス

スタッフ手作りのオーナメントで町家ツリーが完成。クリスマスまで通り庭にあります。見に来てね。

スタッフ手作りのリースで、格子とコラボのにぎわいのクリスマス！

アケビや藤蔓で形作り、松ぼっくり、ナンキンハゼなどで飾りました。

★リース撮影中！観光客の写真スポットになっています★



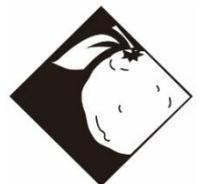
Merry Xmas



奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



大雪 12/7～  
雪は平地にも



冬至 12/21～  
一番長い夜

十二月の節気

節気の言葉に「雪」を感じても、大和国原の初冬は穏やか。盆地ならではの冷え込みは厳しいですが、晴れた朝の空の透明感は冬ならではのですね。

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。

## 奈良町にぎわい通信vol.20

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体  
発行人...二十軒起夫  
編集・構成...おの・こまち  
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一  
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00～17:00 水曜日・休館  
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

http://naramachi-nigiwainoie.jp/